

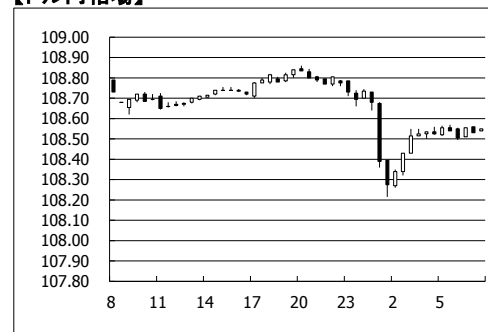
みずほCustomer Desk Report 2020/01/06 号 (As of 2020/01/02)

【昨日の市況概要】

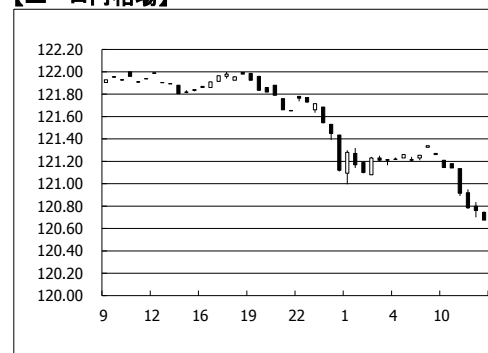
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	- AUD/USD
TKY 9:00AM	108.72	1.1219	121.96	1.3250	0.7018
SYD-NY High	108.86	1.1224	122.00	1.3266	0.7020
SYD-NY Low	108.22	1.1164	121.00	1.3118	0.6979
NY 5:00 PM	108.55	1.1172	121.26	1.3142	0.6990
NY DOW	28,868.80	330.36	日本2年債	-	-
NASDAQ	9,092.19	119.59	日本10年債	-	-
S&P	3,257.85	27.07	米国2年債	1.5700	0.20bp
日経平均	-	-	米国5年債	1.6657	▲2.62bp
TOPIX	-	-	米国10年債	1.8763	▲4.21bp
シカゴ日経先物	23,710	255	独10年債	-0.2240	▲3.60bp
ロンドンFT	7,604.30	61.86	英10年債	0.7900	▲3.15bp
DAX	13,385.93	136.92	豪10年債	1.3740	0.75bp
ハンセン指数	28,543.52	353.77	USDJPY 1M Vol	5.01	▲0.39%
上海総合	3,085.198	35.07	USDJPY 3M Vol	5.47	▲0.21%
NY金	1,528.10	5.00	USDJPY 6M Vol	5.80	▲0.21%
WTI	61.18	0.12	USDJPY 1M 25RR	-1.03	Yen Call Over
CRB指数	185.53	▲0.25	EURJPY 3M Vol	5.78	▲0.15%
ドルインデックス	96.85	0.46	EURJPY 6M Vol	6.16	▲0.09%

アジア	アジア時間のドル円は108.72レベルでオープン。午前中に発表された中国12月財新・製造業PMIが市場予想をやや下回る結果となるも、マーケットの反応は限定的。その後も東京市場が年末年始で休場となる中、ドル円は108.70を挟んで揉みあい推移が継続し、結局108.74レベルで海外市場に渡った。(香港時間14:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.74レベルでオープン。ロンドンの年明け最初の取引日となった本日は昨年末のドル売りをやや巻き戻す展開となった。ただ市場参加者が少ない中で値幅は出ず108.70-86で推移し108.78レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3215レベルでオープン。朝方、英12月製造業PMIが若干予想を下回る。次第に売りが強まり一時1.3190まで下落し結局1.3195レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルジャー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	海外市場のドル円は、特段のニュースは見当たらない中、年末のドル売りが巻き戻される形となり、年明けのNY市場のドル円は、108.78レベルでNYオープン。朝方は米新規失業保険申請件数が予想と程一致し、ドル円の反応は限定的となるが、米金利が低下する動きや、大幅に上昇していたダウが下げ幅を縮小する展開に、流動性が低い中、ドル円はストップを巻き込み108.22まで下落する。しかしこのレベルでは買い意欲もあり、金利が下げたことと、株式市場が再び上昇する展開に、ドル円も108.55まで戻す。午後は、狭いレンジでの推移が続き、108.55レベルでクロスした。一方、ユーロドルは海外市場でドルが買い戻されたことから上値を切り下げ1.1193レベルでNYオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎ1.1170まで下落。ロンドンフィックスに掛けてユーロが買い戻され、1.1203まで戻す局面もあったものの、ドルが買い戻される展開に1.1164まで反落する。午後は狭いレンジでの推移が続き、1.1172レベルでクロスした。(NY井上)

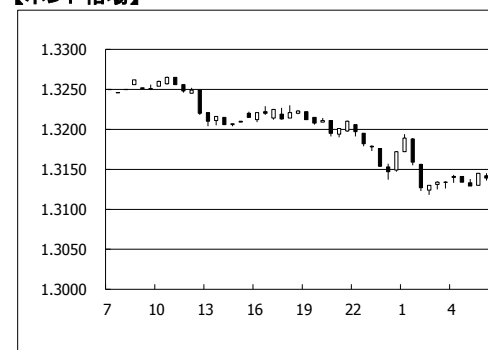
【ドル円相場】



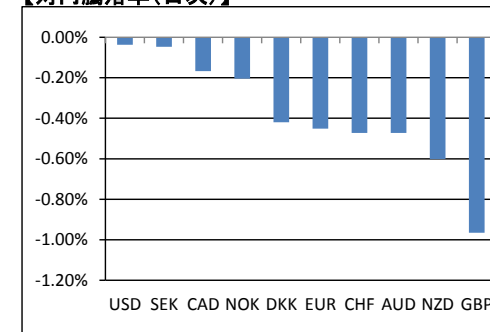
【ユーロ円相場】



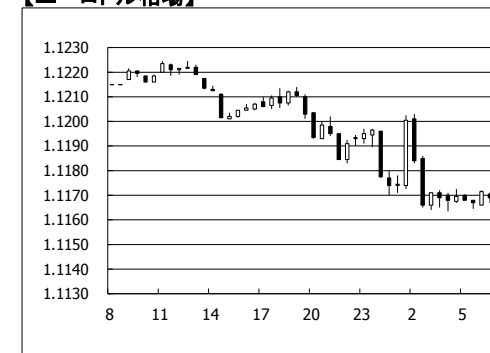
【ポンド相場】



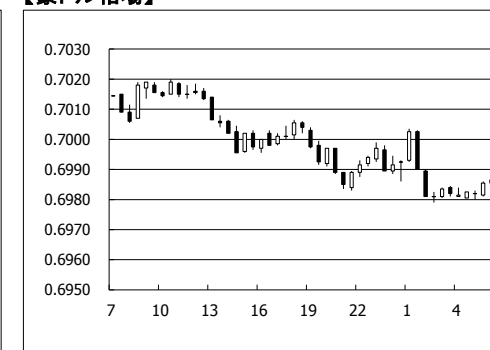
【対円騰落率(日次)】



【ユーロドル相場】



【豪ドル相場】



当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。